

## 総務文教常任委員会

### 行政視察報告

7月5日から7日の日程で宮崎県日向市へ新庁舎建設について、熊本県荒尾市へは、市立図書館について視察を行いました。日向市は、本市と人口も同じくらいで庁舎も約50年以上経過していることも似ています。新庁舎整備事業ですが多くの市民が集う場ということで市民一人一人が、「わたしの市役所」と感じることもできる、市役所の実現を目指したということでした。工事期間中も市民に対して工事現場見学会の取り組みや、日向市役所建設応援団の活動があり市民参加型のイベントの企画、支援や建設後の庁舎の活用策の検討など市民と一体の建設でした。本市もこのように、市民と一体となり新庁舎整備事業を行うことが重要と感じました。

荒尾市は、最新の電子図書館というところで今年4月から紀伊国屋書店が指定管理者となり管理運営をしています。基本方針は、①学

びを「伝える」②交流活動と「つながる」③未来に「つづく」図書館です。サービスについては、書籍のセルフ貸出、無料WiFi、視聴覚機器の導入、タブレットの貸出、電子書籍の導入、スマートフォン等で約7千の電子書籍が利用可能、また飲食できるスペース、豊富な座席、開館時間の拡大でした。最近では本離れが進んでいると聞きますが、誰もが立ち寄りたくなる図書館の整備について、参考になる点が多かったです。



市立図書館について (荒尾市)

## 福祉民生常任委員会

### 行政視察報告

福祉民生常任委員会は、令和4年7月13日から15日までの日程で、静岡県藤枝市「健康・予防 日本一、ふじえだプロジェクト」、京都府舞鶴市「乳幼児教育センター運営事業」の行政視察を行いました。

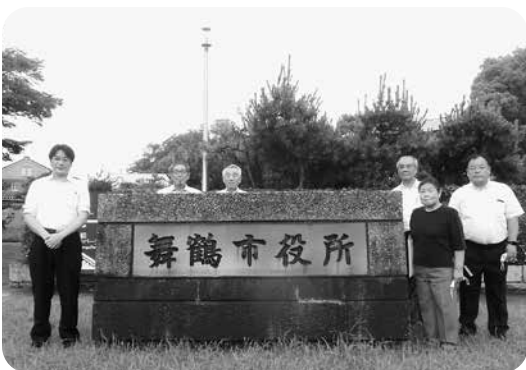
「ふじえだプロジェクト」は、厚生労働省のアワードで優良賞を受賞し、タイ王国からも視察団が訪れる、先進性と実績に優れた取り組みです。

内容としては、約1000人にも及び保健委員体制、歩いた距離をバーチャルな徒歩の旅として記録する「日本全国バーチャルの旅」、運動や健診などの行動をポイントに変え、登録店舗で割引やサービスを受けられる「健康マイレージ」など、他にも多くの事業を行っています。また、保険者努力支援制度を活用し費用の軽減を図っています。今後の高齢者健康維持の取り組みを考える上で

も参考になりました。

舞鶴市では、0歳から15歳までの切れ目のない教育の充実を掲げており、乳幼児に対し、質の高い充実した教育を実施しています。

具体的には、「乳幼児教育センター」を中心に、相談員や「コーディネーター」による保幼小中の連携強化、各種合同研修会の開催など様々な事業を行っています。乳幼児教育の充実、今後の安中市の子育て支援に欠かすことのできない重要な施策だと痛感しました。



乳幼児教育センター運営事業について (舞鶴市)